

大台地区交通安全協会

童謡の替え歌で楽しく交通ルールを学ぶ



大台地区交通安全協会は、各季の交通安全運動期間中の活動として、管内の保育園を「チャイルドシート着用推進モデル保育園」に指定して、園児と保護者のほか保育士等関係者にも着用意義を説明し、意識の高揚を図りました。

引き続きで開催した交通安全教室では、園児らが楽しんで交通ルールを学べるよう、童謡の替え歌「みぎ ひだり みぎ」を参加者全員で合唱しました。



名張地区交通安全協会

手作りの紙芝居と人形劇で交通安全を伝える



名張地区交通安全協会は、管内で開催された「体育・健康フェスタ2013」に参加し、ブースを設置して交通事故防止意識の高揚を図るとともに、女性部員が紙芝居と人形劇の上演を通じて交通安全を訴えました。紙芝居や人形劇で使用する全ての器材は、女性部員が、「子どもたちから交通事故を1件でもなくしたい。」との思いで手作りしたものです。



TSマーク、ご存じですか？



三重県内における平成24年中の自転車による人身事故は1,235件で全人身事故の1割強を占めています。

特に、自転車が加害者となる自転車対歩行者の事故は年々増加しており、高額な損害賠償を請求される事例も増えてきています。

全国で報告されている事故事例

- 歩車道の区別のない薄暗い道路を中学生が無灯火の自転車に乗って走行中、前から歩いてきた歩行者に衝突。歩行者に頭部外傷による後遺障害。 **3,000万円の賠償命令**
- 幹線道路を走行中の自転車が、信号を無視して進行したため、横断中の歩行者に衝突。歩行者が死亡。 **3,000万円の賠償命令**
- 交差点を一時停止せずに左折・進行した自転車Aと直進してきた自転車Bが衝突。Bの運転者が重傷。 **1,300万円の賠償命令**



このマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けてTSマークを貼ってもらうと保険が付帯されます。

TSマークってなに？

「TSマーク」は自転車安全整備店で自転車安全整備士による点検、整備を終えた「安全な自転車」に貼るシールです。賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間の付帯保険が付いている「安心の証」です。

傷害補償	入院15日以上(一律)	10万円
	死亡又は重度後遺障害(1~4級・一律)	100万円
賠償責任補償	死亡又は重度後遺障害(1~4級・一律)	2,000万円

秋の全国交通安全運動実施結果

9月21日(土)~30日(日)

区分	年別	平成25年	平成24年	増減数
総事故件数		1,823件	1,754件	+69件
人身事故		218件	275件	-57件
死者数		3人	1人	+2人

運動期間中の死者数は3件3人(前年同期対比+2件、2人)で、子ども1人と二輪に乗車の2人の方が亡くなりました。

なお、運動終了日現在の県下の全死者数は68人で、その半数近くが高齢者です。

推進事項

- 夕暮れ時の早めのライト点灯(自動車、二輪車、自転車利用者)
- 反射材の着用推進(歩行者、自転車利用者)

期間：平成25年10月1日~12月31日まで

セーフティ・ライト・オン運動

夕暮れ時、ちょっと早めの
ライト・オン運動

三重県交通対策協議会
事務局：三重県環境生活部 交通安全・消費生活課
〒514-8570 三重県津市広町13番地 TEL:059-224-2410 FAX:059-228-4907

夕暮れ時、
ちょっと早めの

ライト・オン運動実施中!

10月1日~12月31日まで

推進事項

- 夕暮れ時の早めのライト点灯(自動車、二輪車、自転車利用者)
夕暮れ時は交通事故が多発します。見るためのライトを見せるためにも点灯しましょう!
- 反射材の着用推進(歩行者、自転車利用者)
明るい服装と反射材を使って車にアピール!
特に、夜間は自分の存在を知らせて安全を確保しましょう!



「冬季に向けた交通安全の心備え」

今年の冬は寒いという気象予想が出ている。予想どおりだとしたら、ギャップは大きい。自分の体調管理もそうだが、車の体調管理も重要である。暑かった夏の疲労は車にもでる。タイヤ、バッテリー、オイル等、冬になる前にプロの診断・ケアを受けてほしい。

私事であるが、7時40分にマイカーで自宅を出て約40分で職場に到着する。7時50分ではどうか? 道路環境は一変する。まず、前を見ず、「スマホ」を見て駅に向かう高校生軍団と出会う。こちらが止まって高校生が通過するのを待たないとぶつかる。次に小学生の通学団を追い越す。いなかの一般道は狭い。小学生の歩くスピードにあわせないとかなり危ない。10分出発が遅いと通勤時間は5分強余分にかかる。

冬季は、凍結、降雪等の気象変化による道路環境の変化も著しい。環境の変化は「あせり」を生み、事故につながる。

冬に向けた交通安全の心構え、具体策を職場で話し合っていたきたい。

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会三重県支部
総務部長 川野 一津馬



ご紹介

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

自動車の健全な普及と流通・環境面等の諸問題の改善、整備を図る目的を達成するため、昭和34年に設立された自動車ディーラーの全国組織で、全国都道府県に支部を設置しています。

年末の交通安全県民運動

平成25年12月11日(水)~20日(金)

運動の重点

- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
(特に、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通安全対策の推進)
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶

